

21/7 期は上期不振も下期急回復で 2.2%増収 10.8%営利増予想と最高益更新予想

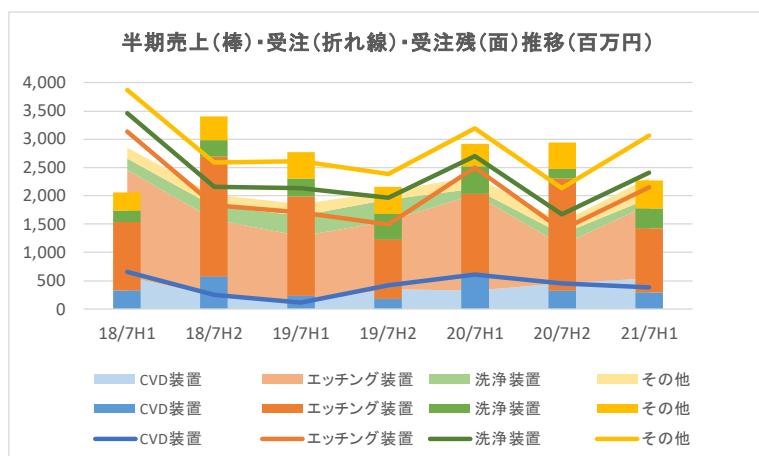
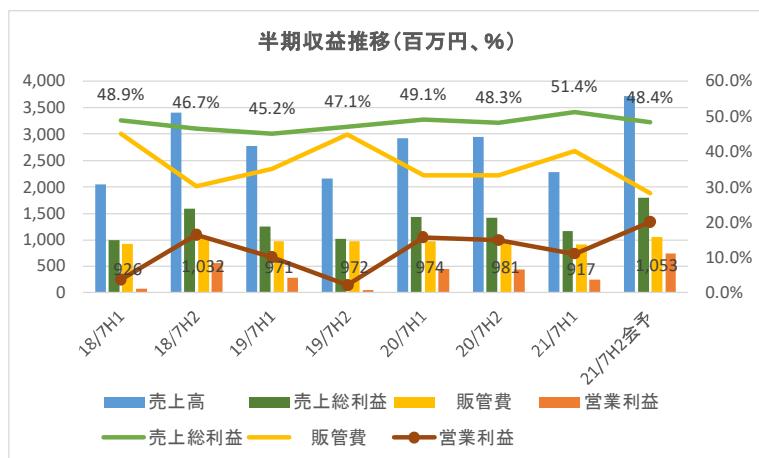
株価 (3/29) : 3145 円、 時価総額 253 億円、 発行済株数 8042 千株

PER (21/7 期 DO 予) 36.1X PBR (2.87X) 配当予 25 円 配当利回り 0.79%

- 21/7 上期はコロナ影響が Q1 まで影響大で、Q2 に収益回復も 22.1%減収 45.2%営利減
- 21/7 期計画に変更無く、下期収益本格回復で 2.2 増収、10.8%営利増予想
- 中計見通しのコア事業で 23/7 期に売上高 86 億円、営利 18.3 億円目標は達成可能
- 株価は 22/1 期 DO 予想 EPS139 円に対し、機械平均 PER26.3 倍水準の 3650 円目標

21/7 上期はコロナ影響が Q1 まで影響大で、Q2 に収益回復も 22.1%減収 45.2%営利減

化合物半導体、高周波電子部品向け CVD、エッティング製造装置に強みを持つ半導体製造装置中堅企業。21/7 上期業績は売上高 22.76 億円 (22.1%減) 営業利益 2.52 億円 (45.2%減)、経常利益 2.62 億円 (44.3%減)、税引利益 1.91 億円 (44.1%減)、受注高 30.58 億円 (4.0%減)。会社計画に対し、売上で 1.24 億円未達成も、営利で 0.32 億円上振れて着地した。



バイス向けは自動車関連の不振で投資遅延などが影響。洗浄装置も 3.52 億円 (28.2%減) とオプト分野の反動減で減収。その他は 5.00 億円 (24.7%増) と、前期がコロナで低調だった反動と、国内生産機向け消耗品等の売上増加が寄与した。また分野別でも部品・メンテナンスを除き減収に。電子部品分野が 10.41 億円 (16.7%減) と、5G 対応で周波数が高まりスマートフォン向け高周波フィルタ、各種センサー向けが堅調も、全体はコロナ影響で不振。オプトエレクトロニクス向けも 4.55 億円 (32.3%減) と、LD 向けの反動減などが影響した。次に仕向け地別では国内が 14.35 億円 (28.6%減) と投資不振で全般的に低調、海外は 8.40 億円 (7.7%減) で、アジアが 6.56 億円 (68.6%増) と中国向、シンガポール、台湾、韓国向け等が好調、中国向けにはマイクロ LED 生産向けエッティング装置やCVD 装置など新分野での納入もある。一方北米は 0.30 億円 (91.8%減) とコロナ影響で低迷した。

利益面では採算のいい機種の構成比が上昇し、計画比減収ながら生産効率向上もあり総利益率が 2.3 ポイント向上し 51.4% となった。しかし減収効果が大きく、販管費を補えず、営業利益は計画比上振れも大幅減益を余儀なくされた。

なお四半期推移では、Q1 が 36.0% 減収、営業赤字に対し、Q2 は 12.7% 減収、3.8% 営利減に止まっており、しかも総利益率も Q1 が 51.0% (同期比 0.3 ポイント悪化)、に対し Q2 は 51.5% (同、3.8 ポイントアップ) と、Q1 ボトムに収益急回復となっている。



21/7 期コロナ影響で上期減速も下期回復し 2.2 増収、10.8% 営利増予想

会社側は 21/7 期予想を変更せず、売上高 60 億円 (2.2%増)、営利 10 億円 (10.8%増)、経常利益 10 億円 (7.8%増)、税引利益 6.8 億円 (7.1%増) 予想。現状、受注残高が 26.16 億円 (同期比 0.9% 減、20/7 期末比 50.9% 増) を確保、ここに来て受注も上向きにあるとのことで、会社予想並みの売上が見込める。利益面では上期の総利益率の改善効果が下期も維持される見通しで、会社計画の売上達成で利益は若干上振れが見込まれる。

中計見通しのコア事業で 23/7 期に売上高 86 億円、営利 18.3 億円目標は達成可能

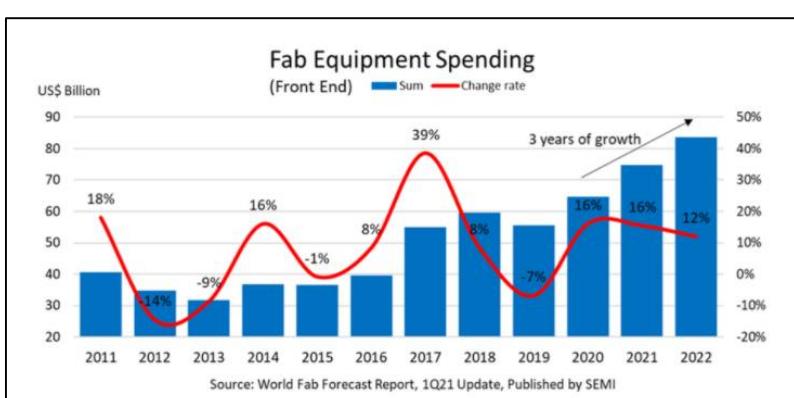
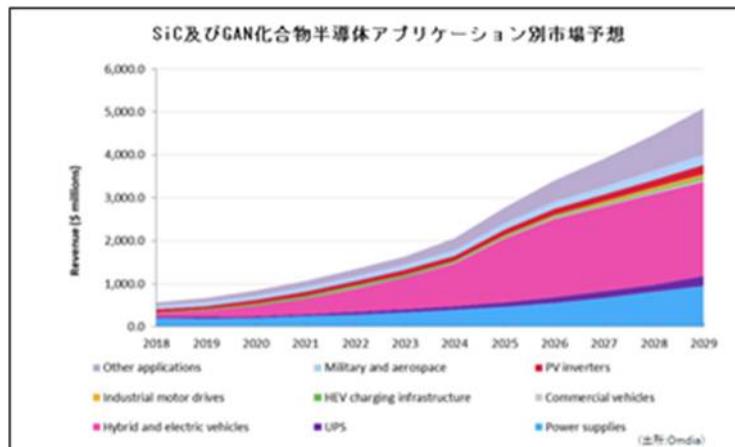
同社は中期経営目標として、コア事業で 23/7 期に売上高 86 億円、営業利益 18.3 億円の達成目指し、さらにヘルスケアなど新事業として年間 15 億円の新規事業を創出するとしている。現状、22/7 期には 5G 端末が本格普及となることから、遅れていた同社のエッティング装置への受注が本格拡大しよう。またオプトデバイス関連では新型コロナウイルス下でゲ

ーム需要などが拡大、今後、AR・VR 表示機器がゲーム機や遠隔作業などの需要で普及が見込まれる。また次世代表示デバイスとして注目

されるマイクロ LED 表示装置が量産に向けて設備投資も始まる見通しで、CVD 装置、エッティング装置の受注獲得も見込まれる。このほか車載関連では各種センサー、LiDAR の採用増などが加わるが、同社は化合物半導体向け CVD、エッティング装置で強みを有し、この分野の投資増も寄与しよう。なお、SEMI の 3 月 17 日のリリースではパワー半導体向け投資が 2021 年は 46% 増、2022 年に 26% 増予想と、全体の伸び（2021 年は 15.5% 増、2022 年は 12% 増予想）より高い投資の伸び率を予測している。また昨年の予想ではパワー及び化合物半導体ファブが 2024 年までに 38 の新設ライン（2019 年で 804 の設備）が生産を開始するとしており、同分野に注力している同社へのインパクトは大きい。

上記のような状況か

ら、2021～2022 年にかけてのパワー半導体の投資増計画から判断し、会社中計のコア事業見通しは十分達成可能と判断した。なお 21/7 上期に新型コロナウイルス不活性化技術を開



発、医療器具用滅菌装置として販売を見込むほか、アクアプラズマを利用しバイオ向けマイクロ流体チップなどもあるが、新規事業の寄与は時間を見ると見られ、会社業績はコア事業見通しから多少上乗せされた収益が見込まれる。

株価は 22/1 期 DO 予想 EPS139 円に対し、機械平均 PER26.3 倍水準の 3650 円目標

同社株価は 21/7 期業績が伸び悩むとして決算発表後低迷していたが、1/21 にコロナ対策として不活性化技術完成の開示がなされ、話題性などから 1/25 に 4260 円の年初来高値を付けた。但しその後は Q1 の営業赤字、上期の大幅減益予想などもあり、3/9 には Q1 発表直後の 12/11 安値 2955 円に近づく 2995 円と 3000 円大台割れまで売られた後、1 割程度戻した水準にある。上期決算発表で通期予想に変更がなく、現状、21/7 期会社予想 EPS64.65 円に対し PER37.1 倍は、機械平均 PER26.3 倍に対し割高感がある。但し足元で受注が回復している事、来期は大幅収益上伸見通しであり、22/7 期 DO 予想 EPS139 円に対し機械平均 PER26.3 倍にあたる 3650 円目標に、ややポジティブとする。

(百万円、円)										
SAMCO (6387)	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当
19/7期	4,936	-9.7%	328	-48.6%	305	-52.5%	216	-46.9%	26.84	20.00
20/7Q1	1,141	3.6%	118	436.4%	122	212.8%	88	238.5%	10.98	0.00
20/7Q2	1,781	6.6%	342	32.0%	349	56.5%	253	59.1%	31.54	0.00
20/7Q3	1,311	25.6%	175	821.1%	163	270.5%	109	303.7%	13.54	0.00
20/7Q4	1,637	46.2%	267	853.6%	294	黒転	185	4525.0%	22.95	25.00
20/7H1	2,922	5.4%	460	63.7%	471	79.8%	341	84.3%	42.52	0.00
20/7H2	2,948	36.2%	442	840.4%	457	962.8%	294	848.4%	36.49	25.00
20/7期	5,870	18.9%	902	175.0%	928	204.3%	635	194.0%	79.01	25.00
21/7Q1	721	-36.8%	-77	-165.3%	-78	-163.9%	-52	-159.1%	-6.43	0.00
21/7Q2	1,555	-12.7%	329	-3.8%	341	-2.3%	243	-4.0%	23.77	0.00
21/7H1期初会予	2,400	-17.9%	220	-52.2%	220	-53.4%	150	-56.1%	18.67	0.00
21/7H1	2,276	-22.1%	252	-45.2%	263	-44.2%	191	-44.0%	23.77	0.00
21/7H2期初会予	3,600	22.1%	780	76.5%	780	70.7%	530	80.3%	65.98	25.00
21/7H2修正会予(3/11)	3,724	26.3%	748	69.2%	737	61.3%	489	66.3%	60.88	25.00
21/7期会予	6,000	2.2%	1,000	10.9%	1,000	7.8%	680	7.1%	84.65	25.00
22/7期コア事業会予	7,800	30.0%	1,560	56.0%	1,550	55.0%	1,050	54.4%	130.71	
23/7期コア事業会予	8,600	10.3%	1,830	17.3%	1,820	17.4%	1,230	17.1%	153.12	
21/7期DO予	6,000	2.2%	1,050	16.4%	1,050	13.1%	700	10.2%	87.14	25.00
22/7期DO予	8,000	33.3%	1,650	57.1%	1,650	57.1%	1,120	60.0%	139.42	38.00
23/7期DO予	9,000	12.5%	1,950	18.2%	1,950	18.2%	1,330	18.8%	165.57	50.00



四半期累計	17/7期	18/7期	19/7期	20/7期	21/7期 会予	22/7期コ ア会予	13/7期コ ア会予	21/7期 DO予	22/7期 DO予
売上高	3,124	5,466	4,936	5,870	6,000	7,800	8,600	6,000	8,000
売上原価	1,682	2,870	2,665	3,013	3,030	3,900	4,300	2,980	3,980
売上総利益	1,442	2,596	2,271	2,857	2,970	3,900	4,300	3,020	4,020
販管費	1,721	1,958	1,943	1,955	1,970	2,340	2,470	1,970	2,370
営業利益	-279	638	328	902	1,000	1,560	1,830	1,050	1,650
経常利益	-214	642	305	928	1,000	1,550	1,820	1,050	1,650
親株主帰属純利益	-265	407	216	635	680	1,050	1,230	700	1,120
セグメント売上情報	17/7期	18/7期	19/7期	20/7期	21/7期 会予	22/7期コ ア会予	13/7期コ ア会予	21/7期 DO予	22/7期 DO予
オプトエレクトロニクス	610	1,906	1,484	1,508	1,243			1,250	2,000
電子部品・MEMS	1,001	1,826	1,598	2,424	2,618			2,620	3,500
シリコン	327	453	426	401	391			390	450
実装・表面処理	261	456	234	220	361			360	360
表示デバイス	137	0	0	124	175			170	170
その他分野	0	97	249	322	358			360	550
部品メンテナンス	781	728	942	870	850			850	970
売上合計	3,124	5,466	4,936	5,870	6,000	7,800	8,600	6,000	8,000
四半期累計	17/7期	18/7期	19/7期	20/7期	21/7期 会予	22/7期コ ア会予	13/7期コ ア会予	21/7期 DO予	22/7期 DO予
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
売上総利益	46.2%	47.5%	46.0%	48.7%	49.5%	50.0%	50.0%	50.3%	50.3%
販管費	55.1%	35.8%	39.4%	33.3%	32.8%	30.0%	28.7%	32.8%	29.6%
営業利益	-8.9%	11.7%	6.6%	15.4%	16.7%	20.0%	21.3%	17.5%	20.6%
経常利益	-6.9%	11.7%	6.2%	15.8%	16.7%	19.9%	21.2%	17.5%	20.6%
親株主帰属純利益	-8.5%	7.4%	4.4%	10.8%	11.3%	13.5%	14.3%	11.7%	14.0%